



導体の通電温度上昇試験(高電流)

通電による温度上昇を測定し、安全性評価に役立てます。

概要 EVパワートレインの耐久性評価に

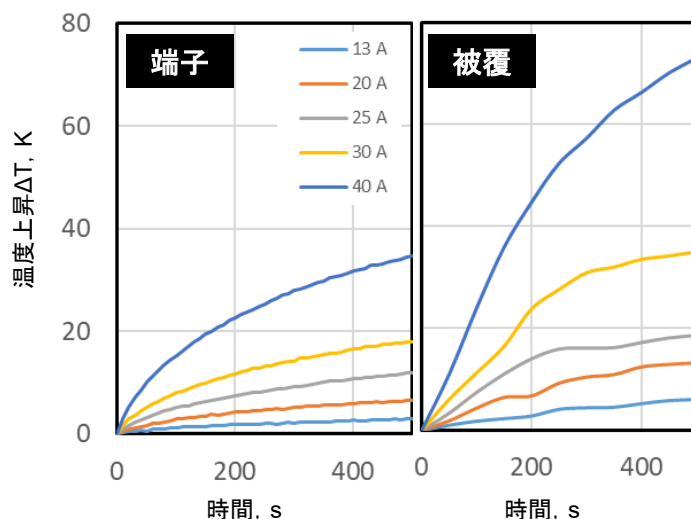
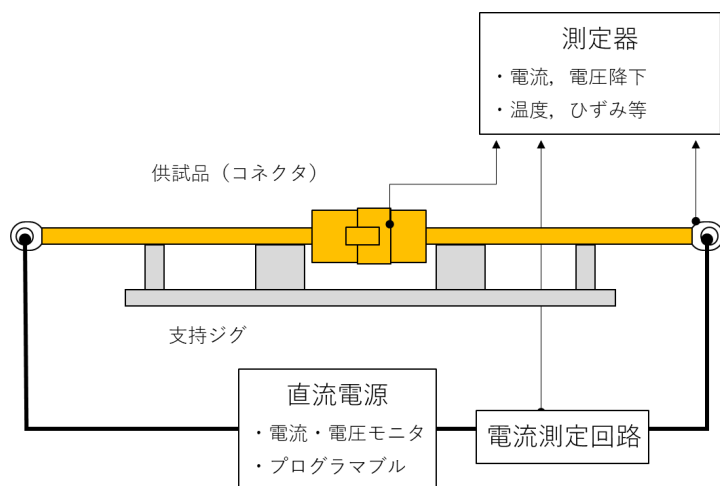
さまざまな部品・製品の温度上昇を測定します。通電電流・時間と温度の関係をプロットし、飽和温度を求めます。定格電流の連続通電による導体部品の温度上昇 ΔT が許容範囲内か検証できます。

- 対象品 EVパワートレインの高電流導体・一般電気部品など
ハーネス、電線、モータコイル、バスバ、端子台など
- 測定量 通電電流、各部温度、その他応談(ひずみなど)
- 規格例 JASO D 608、JIS D 5010、PSEなど

特徴

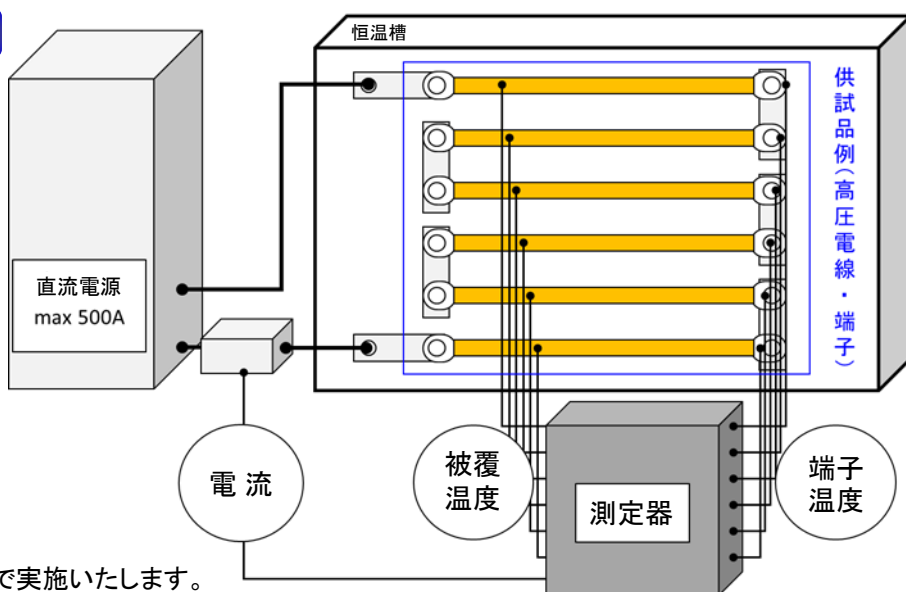
- ・高電流対応 ……DC500Aまで
- ・電流直接測定 ……サンプリング200kHz
- ・振動試験併用 ……40kN垂直・水平
- ・複数供試品の一括試験
- ・支持ジグ等、設計製作応談

測定系



応用 複合的な耐久評価

- 温度・湿度サイクル下の振動耐久試験
多点の温度測定
- 多点のひずみ、加速度測定
→ 実稼働モード解析も
- コネクタ端子など摺動部の観察・分析も



※高電流取扱いのため、試験は安全最優先で実施いたします。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<https://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2023 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。